

## 海外学生派遣事業実績報告書

2013年4月16日

河野 美恵子

### ① 基本事項

所属：先導科学研究科生命共生体進化学専攻

学年：博士課程5年

氏名：河野 美恵子

海外派遣先国名：アメリカ合衆国

海外派遣先大学名：Rutgers, The State University of New Jersey

海外派遣先大学所属：Department of Plant Biology and Pathology

海外派遣期間：2013年1月7日 - 2013年3月16日

### ② 海外派遣先大学について

2ヶ月間 Rutgers University、Department of Plant Biology and Pathology に籍を置く Dr. Ning Zhang の研究室を訪問した。

### ③ 海外派遣前の準備

Dr. Ning Zhang には、2012年1月の国際学会で知り合った地衣類研究者の紹介で受入れを承諾してもらった。派遣にあたっては、まず Dr. Zhang とメールで連絡をとり自分の博士論文研究の内容を説明し、滞在中に何を学びたいか、何を学べるかについて話し合った。滞在期間は2013年1月から3月とし、滞在先は2012年の11月頃から Zhang 研究室の人たちに協力してもらって探した。Rutgers 大学では寮を使用できるのは学部生のみであったのでアパートを借りつもりでいたが、運よく Rutgers 大学で教鞭をとる日本人教員のご自宅にホームステイさせて頂けることになった。

#### ・ビザについて

過去の海外派遣学生の例から、3ヶ月以内の滞在ならばビザ免除プログラムを利用して渡米できると判断し準備を進めていた。しかし、11月頃に Rutgers 大学の事務から滞在にはビザが必要であるとの連絡を受けた。すぐに問い合わせのメールを書いたが、事務から明確な返答が得られないまま12月末になってしまった。結局出発2日前までビザについて Rutgers 大学の事務と交渉し、なんとかビザなしでの滞在を認めてもらった。

渡米後事務の担当者を訪ねて分かったことだが Rutgers 大学ではビザ免除プログラムを利用して滞在した留学生の前例がなく、J1ビザの取得が必要な留学と誤解されていたらしい。今回私が調べた範囲では、研究目的の滞在(3ヶ月以内)にビザ免除プログラムが利用できるかどうかについて言明した公的な根拠を見つけることはできなかった。聞いたところによるとビザ取得の

必要性は受入先の機関にもよるそうなので、アメリカへの派遣を志望する場合はまずその点を明確にしておいた方が良いと思う。

#### ④ 海外派遣中の研究

私は博士課程において地衣類の共生の遺伝的基盤について研究している。Rutgers 大学では次世代シーケンサーを用いて得られた地衣類の遺伝子データの解析方法を学んだ。受入れ先の研究室では菌類と植物の相互作用について研究しており、菌類の培養や生理実験、メタゲノム解析等を行っていた。私は Dr. Zhang の同僚である Dr. Cai の指導のもと次世代シーケンサーのデータ解析法を学んだ。研究に必要なパソコンや解析ソフトは研究室のものを貸してもらった。残念ながら Dr. Zhang が共同研究を行っている地衣類のプロジェクトの進行が遅れており、地衣類のゲノム解析を実地で教わることはできなかったが、習った解析法や研究室が使用している解析ソフトを用いて自分の博士論文研究のデータを解析することができた。また、研究室のミーティングにも参加させてもらい滞在期間の最初には自分の研究について、最後には滞在中の成果について発表を行った。

#### ⑤ 海外派遣中の研究以外の活動

私が滞在した New Brunswick はニューヨーク市まで電車で1時間ほどであったため、週末はニューヨークにある博物館・美術館に行ったりして過ごした。

#### ⑥ 海外派遣費用について

ホームステイができたため、生活費を大幅に抑えることができた。またホストファミリーが日本人であったため、色々とアメリカでの生活事情について聞くこともできた。

#### ⑦ 海外派遣先での語学状況

ホストファミリーとは日本語で、それ以外は英語で過ごした。私の場合、海外派遣前の大学事務との交渉に一番語学力（と忍耐）が必要だったと感じている。

#### ⑧ 海外派遣を希望する後輩へアドバイス

何があるか分からないので準備は早めに。私の場合、11月頃にハリケーンの影響で受入れ先の研究室と一時連絡がとれなくなった。